

常任委員会の議論から

各常任委員会に付託された平成30年度の各種会計決算の、議案に対する質疑等の内容を委員長報告より抜粋してお知らせします。

総務委員会

委員長 小沼秀朗

基金のあり方について

Q 財政課に対し、今後の基金のあり方、見通しを伺う。

A 財政調整基金は市税の20%、40億円を毎年確保に努め、公共施設整備基金はマネジメントの観点で計画的に積み立てる。

マイナンバーカードの交付率について

Q 交付率 10.2%で、市民の9割がマイナンバーカードを持っていない現状をどう考えるか。

A 今後、健康保険証としての機能やマイナポイントを活用した消費活性化策などメリットを感じて頂ければ交付率が上がると考える。

消防団福利厚生事業助成金について

Q 消防団員のなり手不足に家族の協力は不可欠であるが、消防団福利厚生事業助成金63万円は入団に繋がるのか。

A 市内13カ所の施設利用券の他「消防団応援の店」を募り、入団して良かったと家族にも喜ばれるよう取り組む。

環境産業委員会

委員長 山本裕三

葛布産業振興について

Q 葛布産業振興支援業務委託の結果と今後の展開を伺う。

A 葛のレトルトカレーや葛酵母でつくった日本酒、パンの製造、また葛の繊維を混入した紙製品の開発を行っている。最終的には国の伝統工芸品を目指している。

危険箇所通報システムの導入について

Q 交通安全施設整備事業費に関して、地図アプリで市民が道路の危険箇所を通報するシステム導入の検討は行っているのか。

A 現在、災害情報の通報を地図アプリで行う試験を行っている。今後、危険箇所を通報するシステムにも繋げていきたい。

掛川駅周辺施設管理特別会計について

Q 駅前の害鳥対策手数料について効果と今後の対応を伺う。

A 鷹匠による追い払いでムクドリは減少したがスズメは増えている。根本的解決には至っていないが、今後も鷹匠による追い払いを続ける。

文教厚生委員会

委員長 窪野愛子

ことばの教室事業費について

Q 発達に問題のある園児がことばの教室に通級するのではなく、療育できる場へのすみやかな移行が必要との説明を受けたが、現在の状況を伺う。

A 関係部署と施設整備等について協議しながら、解決策を東遠学園組合等と調整している。

肺炎球菌ワクチン接種委託料について

Q 高齢者の肺炎予防や、医療費を削減するためワクチン接種は必要であるが、どのようになっているか。

A 今後5年間、肺炎球菌ワクチン接種を継続していきたい。

国民健康保険特別会計について

Q 保険給付費についてどのようなことを見通して、予算立てを行っているのか。

A 過去5年間の1人当たりの医療費の伸び率や、うるう年で1日多い年は給付費が増えるなどその年の暦によっても増減があり、それを加味する。